

ごみの戸別収集、有料化に向けて

～学習会からの報告～(2012年12月10日開催)

鎌倉市では、ごみの減量・資源化のため、戸別収集、有料化への移行を計画しています。すでに一部地域はモデル地区として戸別収集を開始しました。戸別収集の目的は何か、なぜ有料化にするのか、などについて学習会を開催し鎌倉市環境部ごみ減量・資源化推進担当の方にお話をうかがってみました。

現状は？

鎌倉市の燃やすごみは約4万トン。このうち3万トンを名越クリーンセンターで、1万トンを今泉クリーンセンターで処理しています。今泉クリーンセンターは、地元町内会等との約束で平成26年度をもって焼却を停止することになっています。このため27年度までに1万トンのごみを減らさなければならないという状況になっているのです。

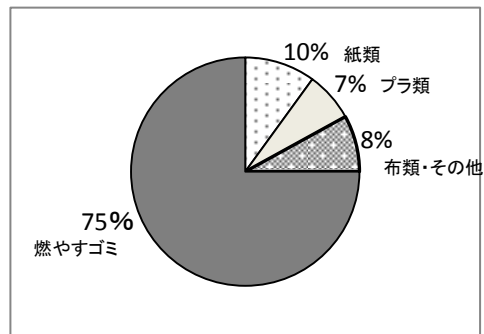
対策は？

4万トンのごみのうち、約65%が家庭から出す燃やすごみで、その約40%が生ごみです。鎌倉市では生ごみの減量のため生ごみ処理機の普及促進をしています。また事業系のごみについては分別の徹底指導を行うとともに処理手数料の値上げなども検討しています。

また、燃やすごみの中身を見ると、その25%が紙類、プラスチック、布類など資源化できるごみであることもわかりました。ごみの分別を徹底することで25%のごみを減らすことができるのです。

リサイクル率が高いのでは？

鎌倉市のごみはリサイクル率が全国でもトップレベルですが、実はこれには植木剪定材の資源化が大きく寄与しており、植木剪定材の資源化がなければ、トップレベルとは言えません。また、ごみの焼却量はここ数年横ばい状態が続いています。



家庭系燃やすごみの組成分析

なぜ戸別収集？有料化？

戸別収集をすることで、ごみを排出する方の責任が明確になり、ごみ排出のルールが守られることが予想されます。すでに戸別収集・有料化を実施している藤沢市では、それまで20%弱あった資源ごみの混入が10%未満まで減りました。また、ごみの減量化・資源化を促進する上で、ごみの減量に取り組んでいる世帯とそうでない世帯が同じように無料でごみを排出できるのは不公平感があるとの見方があります。そのため排出量に応じた負担の公平性から有料化が考えられています。

ごみ有料化によりごみを出さないライフスタイルというのも確立できることを期待しています。

コストがかかるのでは？

戸別収集は民間業者が中心となって行います。少しでもコストが低減できるよう、モデル地区での検証を行っているところです。

いつから？どういう形で？

すでに一部地域ではモデル地区として戸別収集を始めています。「燃やすごみ」「燃えないごみ」「危険・有害ごみ」「使用済み食用油」「容器包装プラスチック」を戸別収集し、その他はクリーンステーションに出すという形をとっています。

有料化については指定のごみ袋を購入していただき、それにごみを入れて出すという形を予定しています。平成26年度に全市実施を目指します。

バイオマス処理施設は？

平成21年度に、生ごみと下水汚泥を混合処理してバイオガスを発生させ発電する新たな施設の計画を策定しましたが、同じような規模と種類の施設は全国的に例が少なく、また財政負担も重いことから、施設を建設しない計画へと変更しました。

戸別収集始まっています

実際に戸別収集が始まった方にお話をうかがってみました。
写真は各家庭から出されたごみボックスです。それぞれのおうちで工夫も見られます。



ステーションまで行かなくて
すむのでとても楽。逆に行く
日が面倒になりました。

収集業務の方が階段を
上ったり下りたりして集
めている様子は大変そ
う。効率が悪くなったよ
うな気がします。



ごみはもともと少ないの
で、戸別収集になって変
化はありません。

ステーションの汚れが気
になっていたのですが、
きれいになったのはよい
ことだと思います。



市から配られたごみ袋のサンプル

収集する側は・・・

決められた場所と違う場所に出してあつたり、出し忘れもありますが、今のところは予想以上にスムーズにできていると言えます。



学習会に参加してくださった方からはこんなご質問、ご意見ができました。

- 有料化している京都では10%しかごみが減ってない。鎌倉もそうなるのでは。
- 指定有料袋で小さいものはあるの？（→用意します）
- 吹き溜まりのごみも有料化？（→無料化を検討しています）
- おむつは？（→赤ちゃん用も大人用もおむつのごみは無料の予定です）
- 缶ビンのコンテナは道をふさいで迷惑、考えてほしい。
- スーパーのトレイなどの回収ボックスには汚れたまま入れる人がいる。市民のマナーを疑う。
- 危険ごみは分別するよう指導があったが今度は一つの袋に混ぜるの？（→今まで通り分けてください）
- 人件費ばかりかかる戸別収集は反対。
- 戸別収集・有料化は集合住宅にメリットがないような気がする。
- 市の考えが二転、三転しているようだ。
- 今泉のクリーンセンターが稼働中止になるとわかっていたのに、対策が後手に回っている。
- 袋を有料化というのはおかしい。手持ちの袋を使うのがリサイクルだと思う。
- 生ごみの減量化をもっとアピールすべき。
- 戸別収集と有料化を同時にやることは疑問。まずは有料化からではないか？

* 鎌倉市はごみの戸別収集・有料化について、随時説明会の要望を受け付けています。正式に決まるときは意見を聞くパブリックコメントを実施し、決まった後は市主催の説明会が開催されるとのことです。実施されるまでには紆余曲折が予想され、まだまだ時間がかかりそうな気がします。

NPO法人 鎌倉リサイクル推進会議の活動紹介と問合せ先

環境問題をはじめ、Reduce(発生抑制)・Reuse(再使用)・Recycle(再生利用)などについて話し合い、実践する「市民運営型の活動」をめざしています。みなさまのご参加をお待ちしています。

〒248-0027鎌倉市笛田1-11-34 笛田リサイクルセンター内 ☎0467-32-9094

ホームページ: <http://www1.kamakuranet.ne.jp/recycle>